

1. 内容についてのTrue or False comprehension check をする。

〈例〉

- (1) Picasso was the "Youngest" painter and his name is known all over the world.
- (2) Young painters are often afraid of trying new ideas.
- (3) Picasso was never satisfied with old ideas.
- (4) Picasso was always interested in painting new pictures.
- (5) Picasso stopped painting at the age of ninety.
- (6) Older painters like to repeat their successes.

2. 本文の内容をとらえながら、黙読する。

3. 内容について英問英答をする。答えはノートに書く。

〈例〉

- (1) Is Picasso known all over the world?
- (2) Why was Picasso the "Youngest" painter?
- (3) Do young painters welcome new ideas?
- (4) Was Picasso working at the age of ninety?
- (5) What are old painters often afraid of?

4. 本文を中心に、内容で一番印象深いところと、それに自分の感想を加えたりして、自分なりに英語で表現する。

5. グループの中で、自分の感想を発表し合ったり、見せ合ったりして、友達作品と対比してみる。

6. 数名の生徒に、TPシートに書かせ、OHPで発表させる。教師は助言し、賞賛してやる。

## Ⅶ. おわりに

言葉の実際の運用につながるような言語活動の重視は、学習指導要領に強調され、最も質的改善がなされたことである。

とかく、現在までは、言語材料の指導のための学習活動が多く行われてきており、これが反省されている。これからは、言語材料を基盤として、生きた言葉としての言語活動が広く行われることが大切である。すなわち、これが一人一人に、理解と表現する喜びを与え、言語に対する主体的取り組みの姿勢を育成することになる。

そのような意味で、言語活動中心の授業を行うために、「聞くこと・話すこと」、「読むこと」及び「書くこと」の3領域における言語活動10項目について指導上配慮すべきことを述べるとともに、現在、本県の中学校において使用されている教科書、「New Horizon」と「New Prince」より言語材料を見出し、その展開の一例をあげてみた。こうした方法が、地域社会の実態、学校の実態、生徒の実態に応じて、一層研究され、具体的なものとして、生かしていただければ幸いである。

### 参 考 文 献

- 中学校指導書 (外国語編)
- 中学校学習指導要領の展開 (外国語英語編)
- 高等学校学習指導要領解説 (外国語英語編)
- 言語活動の考え方・進め方 (納谷友一 大修館)
- 言語活動を育てる英語事例 (伊東正雄 開隆堂)
- 現代英語教育 (研究社)
- 英語科における言語活動の理論と実践  
(堀口俊一 桐原書店)
- New Horizon English Course (東京書籍)
- New Prince English Course (開隆堂)